

2021年度 兵庫県森林動物研究センターシンポジウム

# 境界なき野生動物との共存

～科学的モニタリングと  
地域主体の被害対策への成果と課題～

開催  
日時

2022年2月19日 土  
13:00~16:30

開催  
場所

オンライン開催

参加費無料・要事前申込

申込  
方法

QRコードよりアクセスし  
必要事項を記入の上  
お申し込みください。  
締め切り 2月16日(水)



兵庫県では2007年の森林動物研究センター設立以来、野生動物管理の3つの概念「個体数管理」、「生息地管理」、「被害管理」を科学的な研究結果に基づいて実践してきました。10数年にわたるモニタリング調査では、サルやクマの生息数やシカによる下層植生の変化、地域ごとの遺伝構造などを、調査手法の開発から毎年の変化まで、情報を蓄積してきました。これらの研究成果は被害地域での密度管理や地域の主体的な対策進展に活かされ、改善が進んでいる事例も確実に増えてきました。一方、今までに生息していなかった地域への野生動物の分布拡大や、耕作放棄などの地域の環境変化により、野生動物を取り巻く状況も変化し、地域間で解決すべき課題に大きな差が生じつつあります。そこで、本シンポジウムでは兵庫県および森林動物研究センターが進めてきた研究や実践を紹介し、課題解決に向けた今後の挑戦を提示したいと思います。

お問  
合せ



兵庫県  
森林動物研究センター  
Wildlife Management Research Center, Hyogo

〒669-3842 兵庫県丹波市青垣町沢野 940

TEL : 0795-80-5500

FAX : 0795-80-5506

MAIL : info@wmi-hyogo.jp

URL : http://www.wmi-hyogo.jp/

2021 年度

兵庫県森林動物研究センターシンポジウム

2022年 2月 19日 土

13:00 ~ 16:30

オンライン開催

# 境界なき野生動物との共存

～科学的モニタリングと  
地域主体の被害対策への成果と課題～

【開会・趣旨説明】 梶 光一 所長 / 東京農工大学 名誉教授

- 【研究発表】
- ◆ データ分析に基づくニホンジカの順応的管理  
高木 俊 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授
  - ◆ イノシシの密度推定手法の開発と現状  
栗山武夫 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授
  - ◆ 地域生態系保全のためのモニタリング体系の構築と展望  
藤木大介 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授
  - ◆ ツキノワグマの広域管理を目指した取り組み  
横山真弓 研究部長 / 兵庫県立大学 教授
  - ◆ 兵庫のサル群管理の 10 年  
森光由樹 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授
  - ◆ 地域主体の防御と捕獲モデル集落育成の成果と課題  
山端直人 主任研究員 / 兵庫県立大学 教授
  - ◆ 獣害対策チーム再構築等、新たな兵庫の体制構築  
井上裕司 森林動物専門員

【コメント・講評】 林 良博 名誉所長 / 国立科学博物館 顧問

主催：兵庫県森林動物研究センター

共催：兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学